

社団法人日本プロジェクト産業協議会（JAPIC）事務局

JAPIC 事務局より、毎週木曜日にウィークリー・レポートとして、活動報告と併せて委員会開催予定などをお届けします。

## 【今回のトピック】

### ◆ 森林再生事業化研究会 次世代林業で赤松農水大臣に提言

3月15日（月）、JAPIC 森林再生事業化研究会（主査 米田雅子慶應義塾大学教授）は、国・自治体、経済・森林連合会、学識者および民間企業より187名、一般紙・専門紙29社を集め、次世代林業サミット会議を開催、三村明夫会長が『次世代林業システム』～国家プロジェクトとして、推進提案～」を提言として、赤松広隆農林水産大臣に手渡しました。

林業復活・産業創出による森林再生をめざし、提言の3つの柱として、三村会長より①木材（国産材）の自給率50%をめざす。②国交有林/私有林、国/地方、省庁・業界等の垣根を超える全シームレスな広域森林再生③材料からエネルギーまで木材資源をカスケード利用する点を述べられました。

赤松大臣からは、「同提言は時宜を得たもので、地域活性化、雇用創出の観点からも具体策を強化したい。」とのお言葉をいただきました。

当日は、松下忠洋経済産業副大臣、谷口博昭国土交通省事務次官にもご出席いただきました。

また、王子製紙(株)、日本製紙(株)、東京ガス(株)、東京電力(株)ほか計12社より、次世代林業にむけた各社の取組みが紹介されました。

### ◆ 第15回 フューチャー21を開催

3月11日（木）、JAPIC は第15回フューチャー21を開催、畠山重篤氏（牡蠣の森を慕う会代表／NPO 法人海は森の恋人理事長／京都大学フィールド科学教育研究センター社会連携教授）をお招きし、「森里海の連環と鉄が地球温暖化を防ぐ」をテーマにご講演いただき、会員企業等より約80名が出席しました。

畠山氏は、牡蠣養殖業を営む中で、海の環境を守るには海に注ぐ河川、さらにその沿岸の森を守ることの大切さに気づき、1989年より、落葉広葉樹の植林活動「森は海の恋人」運動を進めてこられました。鉄が地球温暖化を防ぐしくみについて、広葉樹の落葉の腐植土中により生成される物質と鉄イオンが結合、河川を下り、海に鉄分が流れ込むことで水中での光合成を促し、植物性プランクトンや海草が繁殖する結果として、温暖化の原因とされる二酸化炭素の削減につながることを述べられました。

そして、森、河川、海を自然という枠組みで一体としてとらえる森里海連環学の重要性、さらに鉄がいかに生命体にとって必要で、二酸化炭素を削減するなど環境問題にとっても重要なのかを強調されました。

ご講演後の懇親会にも、多くの方々にご参加いただき、活発な意見交換が行われました。

以上